

第 V 部門 (土木材料・土木施工法・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学・その他)

(本講演中番号の下に 図 を付したものは吉田研究奨励金受領者報告である)

▶527 教室 (中棟 3 号館 2F)——10 月 8 日(金)

硬化コンクリートの物性 1. (変形)

13:00~16:00

- (V-1) コンクリートの応力・歪関係について
北海道工大・正 原 田 勝 男
大塚雅生・堀口 敬
- (V-2) コンクリートの引張緩和現象に関する一考察
鳥 取 大・正 木 山 英 郎
西林新蔵・井上正一
- (V-3) 引張応力を受けるコンクリートの応力ひずみ曲線について
立命館大・学 高 木 宣 章
児島 孝之
- (V-4) 三軸圧縮応力下のコンクリートの強度および変形特性について
電力中研・正 大 沼 博 志
- (V-5) コンクリートの微小ひびわれと体積ひずみ曲線
防 衛 大・正 加 藤 清 志
- (V-6) 繰返し荷重下のコンクリートの応力ひずみ挙動の考察
岡 山 大・正 阪 田 薫 次
西林新蔵・井上正一
- (V-7) 3 軸圧縮応力下におけるコンクリートのクリープに関する一実験
鹿島建設・正 小 谷 一 三
阿部 保彦
- (V-8) コンクリートの短期間クリープ特性について
近 畿 大・学 江 端 富美雄
水野俊一・佐野正典
- (V-9) 若材令時のコンクリートの特性について
国 鉄・正 石 橋 忠 良
後藤幸正・村上 温
- (V-10) 極低温下におけるコンクリートのクリープ特性について
清水建設・正 岡 島 正 彦
松本 学・岡田武二
- (V-11) 高強度コンクリートの体積変化に関する研究
東 工 大・正 米 倉 亜州夫
鈴江重俊・長滝重義
- (V-12) 膨張セメントコンクリートのクリープ特性について
新構造技術・正 松 村 英 樹
関 慎吾

▶527 教室 (中棟 3 号館 2F)——10 月 9 日(土)

硬化コンクリートの物性 2. (破壊機構)

9:00~12:00

- (V-13) 骨材の Crack Arrest 作用によるコンクリートのひびわれ特性
北 大・正 佐 伯 昇
- (V-14) 骨材とマトリックスとの付着強度について
北 大・正 奈 良 久
佐伯 昇・高田宣之
- (V-15) コンクリートの骨材界面ひびわれについての一考察
日本高压・正 櫻 福 浄
藤田嘉夫・佐伯 昇
- (V-16) コンクリートの破壊機構に関する基礎的研究
一クラック進展状況について
金 沢 工大・正 齋 藤 満
柳場重正・川村満紀
- (V-17) コンクリートの破壊挙動に関する研究
東 北 大・学 張 荻 薇
松本英信・石田博樹
- (V-18) コンクリートの曲げ破壊過程に関するエネルギー的考察
京 大・学 六 郷 恵 哲
小柳 哲治
- (V-19) 2 軸荷重下のコンクリートのひびわれおよび破壊挙動について
北 大・正 高 田 宣 之

- (V-20) モルタル・コンクリート中の気泡分布構造の確率統計的解析手法
奈良 久・藤田嘉夫
岐阜大・正 森 本 博 昭
大浜 文彦
- (V-21) コンクリートのクリープ破壊機構
九 大・正 江 崎 哲 郎
徳光 善治
- (V-22) 多相材料の破壊のシミュレーション
京 大・学 五 味 一 幸
丹羽義次・小林昭一
- (V-23) 岩質材料の破壊におけるアコースティック・エミッションの特性
京 大・正 大 津 政 康
丹羽義次・小林昭一
- (V-24) Acoustic Emission による破壊源探索について
京 大・学 大 森 啓 至
丹羽義次・小林昭一

硬化コンクリートの物性 3. (乾燥収縮 耐久性)

13:00~16:00

- (V-25) コンクリートの乾燥収縮に及ぼす風作用の影響について
秋田高専・正 庄 谷 征 美
島山 公一
- (V-26) コンクリートの収縮変形における一考察
九 大・学 牧 角 龍 憲
松下博通・徳光善治
- (V-27) コンクリートの凍害に関する研究
東北工大・正 齋 藤 博
外門正直・志賀野吉雄
- (V-28) コンクリートの耐久性に与える AE 剤の効果について
岩 手 大・正 石 田 宏
- (V-29) 凍結融解作用を受けるコンクリートの圧縮強度に与える影響
北海道工大・正 畑 中 裕
大塚雅生・堀口 敬
- (V-30) 凍結融解抵抗性に与える骨材の影響について
北 見 工大・正 鮎 田 耕 一
猪狩平三郎・猪股祥光
- (V-31) 冬期におけるコンクリートの温度変化について
東北工大・正 外 門 正 直
後藤幸正・齋 藤 博
- (V-32) 凍結時におけるコンクリートのディレージンに関する 2, 3 の考察
福 岡 大・正 大 和 竹 史
山下 一友
- (V-33) Ferro-cement の耐久性および疲労特性
都 立 大・正 中 村 憲 治
村田二郎・南 亮
- (V-34) 高炉スラグ碎石の品質がコンクリートの強度・耐久性に与える影響
北海道土試・正 今 井 益 隆
松尾徹郎・大川 守
- (V-35) アルカリ骨材反応に関する基礎的研究
金 沢 大・正 川 村 満 紀
柳場重正・岡田光芳
- (V-36) 熱硬化性樹脂によるコンクリート表層の改質に関する研究
東 大・正 小 林 一 輔
星野 富夫

▶527 教室 (中棟 3 号館 2F)——10 月 10 日(日)

硬化コンクリートの物性 4. (強度 1)

9:00~12:00

- (V-37) 打込み時点にコンクリート強度を判定する方法に関する研究
都 立 大・正 池 田 尚 治
- (V-38) 低温下におけるコンクリート強度について
清水建設・正 今 井 実

- 岡田武二・井畔瑞人
- (V-39) 変動繰返し荷重下のコンクリートの疲労寿命
九 大・学 近 田 孝 夫
松下 博通
- (V-40) コンクリート用骨材としての沖縄産骨材の特
性について 港 湾 技 研・正 大 即 信 明 博
関 博
- (V-41) サンゴ骨材を用いたコンクリートの性質につ
いて 中 部 工 大・正 愛 知 五 男
平澤 征夫
- (V-42) コンクリートの円形断面による曲げ強度試験
について 愛 知 工 大・正 森 野 奎 二 昭
西野
- (V-43) 肉厚の薄い即時脱型製品に用いる配合と締固
め条件 徳 島 大・正 水 口 裕 之 清
荒木謙一・河野
- (V-44) 鋼ファイバー混入コンクリートの諸性質につ
いて 北 海 道 工 大・正 堀 口 敬
大塚雅生・原田勝男
- (V-45) 鋼繊維補強コンクリートの引張強度に及ぼす
繊維の分散と配向の影響
大 林 組・正 山 王 博 之 輔
小林 一輔
- (V-46) 鋼繊維補強コンクリートの圧縮疲労性状
東 大・正 伊 藤 利 治
小林一輔・西村次男
- (V-47) 金属繊維補強コンクリートの加圧成形・加圧
養生に関する検討 徳 島 大・正 河 野 清
川崎 末和
- (V-48) 鋼繊維補強モルタルの変形特性に関する実験
的研究 東 京 理 工 専・正 趙 力 采
小林 一輔
- (V-49) GRC の建設材料としての応用に関する基礎
的研究(続) 大 阪 工 大・正 栗 田 章 光
梶野高司・中村義郎
- (V-50) ソルビトールのコンクリート用混和剤として
の利用性に関する実験的研究(その4)
東 京 理 工 専・正 森 田 興 司
橋本誠二・加藤清志

硬化コンクリートの物性 5. (強度 2. 膨張機構 腐食)
13:00~16:00

- (V-51) 高炉水滓の骨材としての利用
武 蔵 工 大・正 小 玉 克 巳
- (V-52) 水滓モルタルに関する基礎的研究
大 阪 市 大・正 山 本 修 章
西堀忠信・迫間隆司
- (V-53) 高炉水滓を用いたモルタルの強度特性
東 工 大・正 高 田 誠
唐沢 潔・長滝重義
- (V-54) 高炉水滓を多量に混合したセメントコンクリ
ートの性質について 鹿 島 建 設・正 橋 原 健
小谷一三・平田重信
- (V-55) セメントとして微粉末水さいを用いたモルタ
ルおよびコンクリートについて 九 州 工 大・学 岡 部 成 光
渡辺 明・神野良一
- (V-56) ケミカルプレストレストコンクリートの載荷
履歴についての一考察 岐 阜 高 専・正 島 崎 磐
長岡高専・正 国 府 勝 郎
- (V-57) 膨張コンクリートの膨張解析について
都 立 大・学 坂 口 武
池田尚治・野村英治
- (V-58) 膨張コンクリートの合成了床版への適用に
ついて 東 大・学 池 内 武 文
岡村 甫・鈴木俊一
- (V-59) 膨張コンクリートの曲げ引張特性
東 大・学 池 内 武 文
岡村 甫・鈴木俊一
- (V-60) ひびわれによる鉄筋の腐蝕に関する実験(そ
の3) 首 都 公 団・正 富 沢 修 次
秋元 泰輔

- (V-61) コンクリート中の鉄筋腐食の促進試験につ
いて 京 大・正 宮 川 豊 章
葛城純一郎・小柳 治
- (V-62) 海水を使用したコンクリートと鉄筋の腐食
港 湾 技 研・正 関 博
- (V-63) コンクリートの耐海水性に関する基礎的研究
一長期海水浸漬試験による考察一
鳥 取 大・正 西 林 新 蔵
木山英郎・井上正一
- (V-64) スチールファイバーコンクリート舗装のひび
われ進展挙動 住 友 金 属・正 小 山 清 一
川島永治・白川 潔

▶526 教室(中棟 3 号館 2F)——10月8日(金)

部材の特性 1. (軸力および曲げ 1)

13:00~16:00

- (V-65) 曲げとねじりを受けるRC桁の変形特性につ
いて 北 大・学 林 忠 志
藤田嘉夫・中津川 注
- (V-66) 曲げひびわれから見た PRC 部材の力学特性
東 工 大・学 丸 山 博
鈴木健一・長滝重義
- (V-67) 軸引張と交互曲げを受けるRC部材の強度と
変形 早 大・学 川 口 直 能
神山 一
- (V-68) 単純RCはりおよびPCばりの破壊に関する
研究 宮 崎 大・正 中 沢 隆 雄
久原中吾・村田裕文
- (V-69) 鉄筋コンクリート不静定構造の塑性挙動に関
する2, 3の考察 京 大・正 矢 村 潔
岡田 清
- (V-70) 鉄筋コンクリートはりの破壊過程のシミュレ
ーションについて 京 大・学 和 田 隆 之
丹羽義次・小林昭一
- (V-71) III種プレストレストコンクリートの複合機構
に関する基礎的研究 京 大・学 豊 福 俊 英
- (V-72) 正負交番荷重を受ける海洋構造物の複合機構に
関する研究 港 湾 技 研・正 上 田 茂
関 博
- (V-73) 高強度コンクリートを用いた構造部材の研究
首 都 公 団・正 大 内 雅 博
秋元泰輔・富沢修次
- (V-74) 超高強度コンクリート梁の変形性状について
東 北 大・学 豊 島 英 明
三浦 尚・吉沢秀生
- (V-75) 低温下におけるコンクリート部材の曲げ特性
について 清 水 建 設・正 長 澤 保 紀
岡田武二・中沢 享
- (V-76) 道路橋RC床版の補修補強に関する一考察
道 開 発 局・正 高 木 秀 貴
- (V-77) RC版の変形に及ぼす配筋方向の影響
北 大・正 松 井 司
能町純雄・角田与史雄

▶526 教室(中棟 3 号館 2F)——10月9日(土)

部材の特性 2. (軸力および曲げ 2)

9:00~12:00

- (V-78) U型溝を有する梁部材の特性(RCラーメン
プレハブ構造:その1)
大 林 組・正 入 沢 賢 一
斎藤二郎・大内 一
- (V-79) プレストレストコンクリートにおける複合機
構に関する研究(プレテンションPCげたの
ベンドアップに関する研究)
国 鉄・正 八 巻 一 幸
池田 尚・涌井 一
- (V-80) プレキャストブロック工法によるPC桁の室
内模型実験について

北海道土試・正 小山田 欣 裕
西部 悦寿

- (V-81) 5 径間連続 PC 2 ウェブ版桁橋トラス荷
試験 首都公団・正 椎 泰 敏
- (V-82) 製作後 20 年を経た PC 桁の性状
国 鉄・正 宮 本 征 夫
池内・雄・朝比奈成一
- (V-83) ひびわれが発生した RC ボックスの耐荷力の
検討例 鴻 池 組・正 小 野 紘 一
松浦良和・矢木茂昭
- (V-84) 高応力くり返し荷重を受けるコンクリート橋
脚の耐力に関する基礎的実験(その2)
首都公団・正 秋 元 泰 輔
富沢 修次
- (V-85) 偏心圧縮を受ける鉄骨鉄筋コンクリート部材
東 大・学 梅 原 秀 哲
岡村 甫・山田一彦
- (V-86) GFRP-BAR で補強したコンクリートはりの
の曲げ破壊 防 衛 大・正 佐 藤 良 一
- (V-87) 水中打設鉄骨コンクリートの強度に関する一
実験 大 林 組・正 芳 賀 孝 哉
堅川孝生・十河茂幸

部材の特性 3. (せん断およびねじり 1)

13:00~16:00

- (V-88) 鉄筋コンクリート梁の a/d と破壊モーメント
日 大・正 北 田 勇 輔
- (V-89) 鉄筋コンクリート梁の曲げひびわれ先端部に
おけるせん断挙動について
日 大・正 原 忠 勝
北田 勇輔
- (V-90) 鉄筋の dowel action に関する一研究
北 大・正 角 田 与 史 雄
能町純雄・堺 孝司
- (V-91) プレストレストコンクリート梁の終局耐力に
及ぼすせん断力の影響
広 島 大・正 岡 本 享 久
船越 稔・藤原春海
- (V-92) 軸方向力および曲げモーメントを受ける鉄筋
コンクリート部材の終局耐力に及ぼすせん断
力の影響 広 島 大・学 橋 本 千代司
船越 稔・松浦信雄
- (V-93) 繰り返し荷重をうける鉄筋コンクリートはりの
のせん断耐力 新 潟 大・正 丹 泰 美 力
柳田
- (V-94) 高強度コンクリートはりのせん断耐力につい
て 京 大・学 M. アザムアゼイミ
岡田 清・小柳 治
- (V-95) 鉄筋コンクリート連続梁のせん断補強につい
て 広 島 大・学 吉 田 誠
船越 稔・重政博昭
- (V-96) プレストレストコンクリート連続梁のせん断
強さに関する実験研究
広 島 大・学 岩 切 立 雄
船越 稔・岡本享久
- (V-97) 鉄筋コンクリート部材のねじり剛性
国士館大・正 松 島 博 一
神山
- (V-98) ねじりを受ける S.R.C. 部材の継目の影響に
ついて 間 組・正 辻 田 満
岡田 清・村岡元彦
- (V-99) 移動繰り返し荷重を受ける RC 床版の劣化に
関する一考察 東洋技研 C・正 藤 井 壮 一
園田恵一郎・実松秀夫
- (V-100) RC 版の疲労強度に関する一研究
北 大・学 菅 野 直 芳
能町純雄・角田与史雄

▶526 教室(中棟 3 号館 2F)——10 月 10 日(日)

部材の特性 4. (せん断およびねじり 2. 付着 定着)

9:00~12:00

- (V-101) 鉄骨鉄筋コンクリートにおける複合機構に関
関 する研究 清水建設・正 関 島 謙 蔵

- (V-102) 鉄骨鉄筋コンクリート部材のせん断および定
着に関する研究

奈良建設・正 安 田 賢 二
池田尚治・加島 聡

- (V-103) 鉄骨プレバッドコンクリート梁に関する実
験的研究(その2)

新 日 鐵・正 楠 本 操 正
儀賀俊成・忍足

- (V-104) 鋼板接着によりせん断補強された鉄筋コン
クリート梁の実験

東急建設・正 山 本 俊 彦
渡辺 正巳

- (V-105) 連続地下壁の構造躯体利用に関する実験的研
究—地下壁と面外方向のはりで構成されたフ
ラットプレート構造体のせん断試験—

フジタ工業・正 青 景 平 昌
丸田春樹・岸山品信

- (V-106) 鉄筋とコンクリートの付着強度試験方法に関
する研究 日 大・正 河 合 紘 紘
村田 二郎

- (V-107) 太径異形鉄筋の付着強度におよぼすふし形状
の影響 住友金属・正 松 田 童
山川純雄・白川 潔

- (V-108) たばね鉄筋の付着特性に関する研究
東 北 大・学 佐 藤 英 俊
後藤幸正・大塚浩司

- (V-109) 低温下におけるコンクリートと鉄筋の付着特
性について 清水建設・正 本 村 克 彦
岡田武二・武川恵之助

- (V-110) 衝撃荷重下の付着特性について
神 戸 大・正 宮 本 文 穂
藤井 学・秦 博巳

- (V-111) 異形鉄筋の定着強度
東 北 大・正 石 田 博 樹
太田 実・佐藤孝志

- (V-112) スチールファイバーのコンクリート補強機構
に関する 2, 3 の実験結果

住友金属・正 白 川 潔
山川純雄・小山清一

部材の特性 5. (継手 結合)

13:00~16:00

- (V-113) 異形鉄筋の重ね継手に関する研究(複合機構)
関 東北学院大・正 大 塚 浩 司

- (V-114) 施工条件を考慮した太径鉄筋の重ね継手に関
する実験 首都公団・正 飯 野 忠 雄
秋元泰輔・富沢修次

- (V-115) 鉄筋の重ね継手の疲労特性に関する研究
都 立 大・学 信 田 佳 延
池田 尚治

- (V-116) 太径鉄筋 D51 の TS 式スリーブジョイン
トの低温特性 清水建設・正 矢 部 喜 堂
杉田 稔・石川 登

- (V-117) 横ぶし太径鉄筋 D51 を用いたスクイズジョ
イントの疲労強度に関する研究

川崎製鉄・正 佐 藤 政 勝
原 道彦・村本幸春

- (V-118) 圧着式連結用補強金具に関する研究
都 立 大・正 富 田 嘉 雄
・村田二郎・石渡正夫

- (V-119) 曲げを受けるプレテンション PC 桁の結合法
について 九 大・学 日 野 伸 一
太田俊昭・花田 久

- (V-120) スリップフォーム工法における打継目に対す
る一考察 飛鳥建設・正 小 林 清 三
小玉克巳・津崎淳一

- (V-121) 極低温におけるコンクリートブロック接手部
および接着剤の性状

三井建設・正 田 村 富 雄
広松 親

- (V-122) コンクリートブロックの海水中接合強度に関
する一実験 東亜建設・正 富 山 昌 彦
平澤 征夫

- (V-123) ポストテンション連結方式合成桁橋の連結部
耐力試験とその考察
阪神公団・正 首 藤 泰 之
岡田 清・保坂誠治
- (V-124) プレストレスによって接合したはりの変形に
関する一考察 岐阜大・正 小 林 和 夫
- (V-125) モルタルグラウトした二重鋼管の押抜きセン
断強度 川崎製鉄・正 三 好 弘
高 昇
滝沢章三・山本

▶524 教室 (中棟 3 号館 2F)——10 月 8 日(金)

アスファルトの物性 1.

13:00~16:00

- (V-126) アスファルトおよびアスファルト混合物の粘
弾性状に関する研究 その 2
徳島大・学 村 中 秀 樹
山崎泰三朗・森吉満助
- (V-127) アスファルト混合物の応力緩和性状について
一ひずみレベルの影響一
徳島大短大・正 山 崎 泰三朗
安藤 公・溝口武志
- (V-128) アスファルトの粘度と混合物の変形抵抗性
北 大・学 小 野 修 央
笠原 篤・菅原照雄
- (V-129) サンドアスファルト混合物の締固め抵抗
室蘭工大・学 石 川 徹
後藤 修・新田 登
- (V-130) アスファルト混合物の締固め挙動
室蘭工大・正 新 田 登
小野 義孝
- (V-131) アスファルト混合物の安定度に関する実験的
研究 中 大・正 沢 木 龍 雄
佐藤 喜久
- (V-132) アスファルト混合物の破壊包絡線について
東 工 大・正 渡 辺 暉 彦
渡辺 隆・柳沢茂樹
- (V-133) アスファルト混合物の破壊に関する研究
北 大・学 岡 崎 隆 雄
森吉昭博・菅原照雄
- (V-134) アスファルトコンクリートの 1 軸圧縮破壊特
性に関する一解析
北 大・正 上 島 壮
菅原 照雄
- (V-135) アスファルトコンクリートの 3 軸試験につ
いて 大成建設・正 岡 田 和 夫
森吉昭博・伊藤隆彦
- (V-136) アスファルト混合物の動的応答に関する研究
(第 6 報)一破壊性状と疲労性状一
北 大・正 笠 原 篤
河島克美・菅原照雄
- (V-137) 凍結融解試験におけるアスファルト混合物の
性状変化について
東北工大・正 高 橋 彦 人
赤間孝次・今埜辰郎

▶524 教室 (中棟 3 号館 2F)——10 月 9 日(土)

アスファルトの物性 2.・舗装設計

9:00~12:00

- (V-138) アスファルト混合物のワーカビリティに
関する研究 (その 2)
東亜道路・正 川 野 敏 行
野村豊明・笠原 靖
- (V-139) フィラーの粒度が混合物の諸性質におよぼす
影響 (2) 日 大・学 萩 原 芳 彦
星野佳久・栗谷川裕造
- (V-140) アスファルト混合物の加熱に関する研究
北 大・正 森 吉 昭 博
深井一郎・菅原照雄
- (V-141) セメントーアスファルト複合材の基礎物性に
関する研究 東亜道路・正 笠 原 靖
植村 正・樋口芳朗

- (V-142) セメントアスファルトコンクリートの遮水膜
(壁)への利用に関する基礎的研究
大 林 組・正 堅 川 孝 生
内藤和章・松垣一彦

- (V-143) エポキシ樹脂混合物のクリープ挙動に関する
基礎的研究 北海道工大・正 間 山 正 一
佐川一行・板倉忠三

- (V-144) エポキシアスファルトコンクリートの破壊特
性に関する基礎的研究
日 歴 化学・正 太 田 健 二
小山泥舟・間山正一

- (V-145) 赤泥焼成物を用いたアスファルト混合物につ
いて 苫小牧高専・正 吉 田 隆 輝

- (V-146) 再生アスファルト合材とその舗装
大 阪 市・正 徳 田 弘 毅
黒田 宏・乾 節男

- (V-147) スチールファイバーコンクリートの舗装厚の
検討 大 林 道 路・正 国 分 修 一
水沢 慎

- (V-148) 輪荷重の大きさに基づく接地半径の舗装構造
への影響について
九州東海大・正 秋 本 昌 胤
秋山 政敬

- (V-149) 等価 2 層モデルによるアスファルト舗装の解
析 名古屋大・正 今 泉 繁 良
植下 協

フレッシュコンクリート

13:00~16:00

- (V-150) フレッシュコンクリートの複合機構がレオロ
ジー特性におよぼす影響について
明石高専・正 角 田 忍

- (V-151) フレッシュコンクリートの流動と変形
都 立 大・正 村 田 二 郎

- (V-152) フレッシュコンクリートのレオロジー的性質
に関する基礎的研究一フレッシュコンクリ
ートの 3 軸試験一
鳥 取 大・正 井 上 正 一
西林新蔵・木山英郎

- (V-153) 回転粘度計によるレオロジー一定数測定値にお
よぼす容器寸法の影響
名 城 大・正 菊 川 浩 治

- (V-154) 斜めシュートにおけるコンクリートの流量の
予測に関する研究
舞鶴高専・正 岡 本 寛 昭

- (V-155) モルタルの最適配合に関する実験的考察
秋 田 大・正 加賀谷 誠 弘
徳田

- (V-156) 舗装用フレッシュコンクリートの細骨材の粗
粒率とレオロジー一定数との関係
和歌山高専・正 中 本 純 次
戸川 一夫

- (V-157) プレバックドコンクリート用グラウトの粘
性・流動性について
大阪工大短・正 藤 倉 徹
久保 直志

- (V-158) 高性能減水剤を用いた低水セメント比モルタルお
よびコンクリートのコンシステンシーにおよぼす
諸要因について
九州工大・正 高 山 俊 一
出光 隆・江本幸雄

- (V-159) 鋼繊維補強コンクリートのコンシステンシー
に関する実験的研究
日 大・学 岡 村 雄 樹
小林 一輔

- (V-160) プレバックドコンクリートの側圧現場実験
(その 1) 清水建設・正 奥 村 忠 彦
小川英信・姫路昭夫

- (V-161) プレバックドコンクリートの側圧現場実験
(その 2) 清水建設・正 黒 田 正 信
瀧田政信・吉原重紀

▶524 教室(中棟 3 号館 2F)——10 月 10 日(日)

コンクリート構造物 1. (温度 構造解析)

9:00~12:00

- (V-162) コンクリートの打継目における温度解析
東北大学・石田享平
西田正之・三浦尚
- (V-163) マッシブな鉄筋コンクリート構造の温度ひびわれについて
首都公園・正一 柳久允
泉満明・塚山隆一
- (V-164) コンクリート高架橋の温度応力に関する研究
東北大学・日野祐滋
松本英信・狩野誠一郎
- (V-165) マスコンクリート施工時の温度上昇の推定方法について
清水建設・正小野 定
- (V-166) マッシブな熱風炉基礎スラブコンクリート施工時の温度上昇について
川崎製鉄・正鹿毛 征二
森山謙久・小野 定
- (V-167) 第2, 第3阿武隈川橋梁の打継目に発生するひびわれの統計解析
国鉄・正神野典久
西田正之・尾坂芳夫
- (V-168) 重力式コンクリートダム嵩上げ工事における熱応力解析
電力中研・正阿部博俊
田辺忠顕・原口 晃
- (V-169) レジンモルタルの強度および熱的性質
秋田大学・正川上 洵
徳田弘・小俣富士夫
- (V-170) 不均等な基礎地盤上の鉄筋コンクリート函体構造の応力解析
運第二港建・正輪湖建雄
大槻有吾・広谷彰彦
- (V-171) コンクリートくい打込み時に発生する引張応力に関する実験的研究
呉高専・正久良喜彦
- (V-172) 大型地下PCタンクの各種計測結果とその考察
三井建設・正長屋洋司
田村 富雄
- (V-173) 弾性固定によるPCタンク
飛島建設・正遠峰孝栄
能町純雄・齊木由裕
- (V-174) コンクリート製容器の高水圧下の耐力
電力中研・正満木泰郎
岡沢孝雄・阿部博俊

コンクリート構造物 2. (設計 工法)

13:00~16:00

- (V-175) 鉄筋コンクリート柱断面の最適許容応力度設

計 信州大学・今尾雄一
長 尚・古川深夫

- (V-176) 鉄筋コンクリートT形断面の最適弾・塑性設計
信州大学・正長 尚
- (V-177) 軸力と曲げモーメントを受ける鉄筋コンクリート円形断面に任意の設計 σ_c を 1 回で実現する断面半径 r を決定する方程式の研究
道都短大・正今井 芳雄
- (V-178) コンクリート構造の安全検証に関する研究
東北大学・鈴木基行
尾坂芳夫・小野 洋
- (V-179) 大きな波力を受ける鉄筋コンクリート隔壁構造物外壁の設計法に関する研究
運第二港建・正竹田英章
柳生忠彦・連見 隆
- (V-180) PC I 形けた架設中に生ずる主げたの傾斜に伴う横座屈に関する実験
国鉄・正小須田紀元
石黒 吉男
- (V-181) PC けた押し出し工法の施工段階における安全度の確認方法
国鉄・正板東 弘
金原 弘・小林明夫
- (V-182) 3 径間連続合成桁床版の施工報告
東急建設・正西岡 哲
福井 康・柿山今日児
- (V-183) 鋼繊維補強コンクリートの吹付け工法への応用実験(その1)一在来吹付け機を用いた場合の諸性質および問題点一
鹿島技研・正万木正弘
中原 康・須藤英明
- (V-184) 鋼繊維補強コンクリートの吹付け工法への応用実験(その2)一急結剤の混入が可能な湿式吹付け機を用いた場合の諸性質一
鹿島技研・正中里吉明
中原 康・須藤英明
- (V-185) 膨張性混和材料による高含水汚泥の固形化について
新潟大学・堀内俊男
米山絃一・松野操平
- (V-186) シラスとコンクリートとの接合部の施工に関する実験的研究
宮崎大学・学村田裕文
久原中吾・中沢隆雄
- (V-187) 振動ローラによるノースランブコンクリートの締固め効果に関する実験研究
鹿島建設・正横田慎一
中原 康・平田重信
- (V-188) コンクリートのクラック補修
佐賀大・正石川達夫
堀口 潔

マーク
は語る



東京電力株式会社

当社は戦後の電力再編成の際に、日本
発送電株式会社と関東配電株式会社の合

併によって、昭和 26 年 5 月 1 日に設立
された会社であり、現在、資本金 4009
億円、設備出力 2400 万 kW をもつ世
界最大の電力会社として、首都圏を中心
に電力を供給している。

社章の制定にあたっては、会社創立以
前からすでに準備が進められ、日本発送
電、関東配電を通して社員一般からの募
集が行われた。応募総数は 3000 余通に
も上がり、社外の美術家もまじえて審査
が行われた結果、当時の総務部株式課長

伊藤善吉氏の作品が当選し、同年 6 月 1
日より施行されて現在に至っている。デ
ザインは東京電力の頭文字 T を図案化
したものに、電気事業を象徴する稲妻形
を配した、単純でわかりやすいものであ
る。現在、社員用バッジ、ヘルメット、
車両はもちろん、町中でよく見かける変
圧器や営業店所の看板などに描かれてい
るので、関東地方ではもっとも親しまれ
ているシンボルマークのひとつであると
言えよう。(松尾和俊・記)